

授業概要

本授業におけるアメリカとは、アメリカ合衆国のことを指します。従って、本授業では、アメリカ合衆国の歴史を重要なテーマごとに概観することを目的とします。前半（第1回～第6回）にアメリカ合衆国を形成した重要概念を学び、後半（第7回～第15回）は、アメリカの持つ歴史的意味を、特に日本との関係において考察することを目的とします。

授業計画

第1回	イントロダクションー「アメリカ」とは何か
第2回	アメリカ史とプロテスタンティズム
第3回	合衆国憲法と政教分離
第4回	アメリカ史とフロンティア
第5回	奴隷制度と南北戦争
第6回	アメリカ史の中の進化論
第7回	日系アメリカ人のアメリカ
第8回	原爆投下を通してみる日米の記憶のポリティクス
第9回	占領政策と日本
第10回	アメリカにおける民族差別と公民権運動
第11回	朝鮮戦争と日米関係
第12回	ベトナム戦争と日米関係
第13回	グローバリズムと日米関係
第14回	アメリカと「ソフトパワー」
第15回	まとめ
第16回	学期末筆記試験

到達目標

本授業の最大の目的は、アメリカ合衆国の歴史に関する、基本事項と基本概念を学ぶことを通じて、歴史を見る複眼的な思考法を学ぶことを目指します。よって、細かい固有名詞や年号などを覚えることは第一義的な目的ではなく、アメリカ史を学ぶことを通じて、歴史学の意義や人文学的なものの見方を養うことを主眼とします。

履修上の注意

履修：積極的に取り組む意思が求められます。出席・遅刻等の扱いは、大学の規定に準じます。
授業：日本語で行います。適宜映像資料も取り入れます。また、テーマによっては、少人数グループに分かれたディスカッションや発表等も行います。

予習復習

予習：新聞等で日米に関係する項目に目を通す習慣をつけると、理解の助けになります。
復習：ノートテイキングを怠らず、授業後に情報のまとめなどをすると、知識の整理になります。

評価方法

学期末筆記試験とレポート一通の提出で評価します。どちらかひとつが欠けても成績要件を満たしません。レポートの詳細は授業中に伝えます。大学既定の出席回数を満たさない場合は、期末試験受験資格を喪失します。

テキスト

テキストはありません。参考文献として次のものを挙げておきます。猿谷要『物語アメリカの歴史ー超大国の行方』（中公新書）、渡辺靖『アメリカのジレンマー実験国家はどこへゆくのか』（NHK 出版新書）、南川文里「アメリカ多文化社会論」（法律文化社）。